

色(テーマカラー)

◎萌黄色

黄みのある淡い緑系統の色。

若さの象徴として、平安時代から常用されていた色。

萌黄色を見出し等の文字に使用する場合、視認性が低く、カラーユニバーサルデザインの認証を通らない可能性がある。

また、カラーユニバーサルデザインの認証を通すため、視認性が高い、濃い緑系統の色をテーマカラーにすると全体的に暗いトーンになる。

◎紅赤色

紅赤は少しだけ紫みを含んでいる鮮やかな赤色。

紅花から抽出された紅系統の色は、江戸時代にも非常に人気があった。

現在でも紅赤色は人気があり、化粧品のパッケージやインキの色名のほかにも、地ビールや薩摩芋の品種などでもその色名が見られる。

カラーユニバーサルデザインの認証も通る可能性が高く、

また、赤系は一般的に目立ちやすい色。